

産業戦略室

1. 役割と基本方針

行政・社会・技術などの動向を踏まえて画像医療システム産業の成長促進のためのビジョン・戦略の策定、行政を含めステークホルダー向けの情報発信・提言活動を司る組織として、2010年度に産業戦略室が設置され、画像医療システム産業の実態分析・成長戦略の理解、行政等への迅速対応と提言、オリジナルデータベースの整備・分析等の活動を進めてきた。

2015年度は、産業戦略室としての初期目標であった「調査研究による情報発信」を医療機器センターと共同で精力的に実施した。

また、戦略的広報という点でもJIRAホームページのリニューアル企画を推進することができた。

2016年度は以下の方針の下、活動を進めた。

- (1) 調査研究による情報発信をさらに強化し、次世代医療ICT基盤協議会などの医療行政の大きな方向性が議論される国の検討会に参加すると共に、デジタルヘルスの動向把握を行い、産業界として数年先の活動に結び付く提言を行う。また、画像医療システム産業研究会についても先を見据えたテーマを選定し推進する。
- (2) 会員企業数の拡大を目指し、中小企業・IT産業振興委員会と連携をはかり、中小・IT関連企業へ提供するサービスメニューを増やし、JIRA会員へのさらなる付加価値提供を推進していく。同時に、会員となるメリットを外部に訴求する活動を広報委員会と連携し推進する。

2. 2016年度の主な活動項目とその成果

2.1 2016年度活動項目

2016年度のJIRA活動方針に基づき、具体的な活動を企画・立案、推進した。

- (1) JIRA画像医療システム産業研究会の開催
- (2) 医療機器センターとの共同調査研究による情報発信
- (3) 行政等への提言活動
- (4) 継続的基幹業務の強化
 - ・戦略的広報活動の推進、調査活動、行政等への迅速対応のための部会・委員会との連携活動

2.2 JIRA画像医療システム産業研究会の開催

(1) 概要

2016年12月16日、日中友好会館 地下大ホール（東京都文京区）において「第6回JIRA画像医療システム産業研究会」を開催した。【中小企業・IT産業振興委員会 教育・研修専門委員会と連携】

テーマ：「医療分野のICT利活用」

プログラム：

- ①開会挨拶 JIRA会長 小松 研一

②基調講演

医療・介護・健康ICT基盤の構築

藤本 康二 氏（内閣官房 健康・医療戦略室 次長）

③病院のICT利活用

病院のICT化の現状と将来 ～IoTが拓く情報化医療の未来～

黒田 知宏 氏（京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授）

④医用画像処理

治療に直結した医用画像処理とビッグデータ解析 ～CT画像からの人体解剖の自動認識と治療支援～

佐藤 嘉伸 氏（奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 生体医用画像研究室 教授）

⑤遠隔画像診断

遠隔医療の大潮流と遠隔画像診断の将来展望 ～遠隔画像診断サービスの普及に向けて～

長谷川 高志 氏（日本遠隔医療学会 常務理事）

⑥総括・閉会挨拶 JIRA理事 政策企画会議議長 和辻 秀信

(2) 実施結果

計153名の参加により会場が満席となり、講演内容に対する質疑応答が活発に行われた。

参加者へのアンケートでは、今回の研究会の内容について、ほとんどの参加者が“満足した”と回答し、満足度が非常に高かった。感想・意見として、「IoT、ICTの多面的なテーマで興味深かった」、「様々な画像以外の情報も得られて良かった」、「興味ある題材で充実した内容だった」など、テーマ選定を高く評価するコメントが多く寄せられた。

画像医療システム産業が密接に関連するテーマをタイムリーに選定し、最先端の情報が得られるような講演者を招くことで、大きな効果が得られることを改めて認識できた。来年度以降もJIRA会員企業にとって興味があるテーマに基づく研究会を企画・開催していきたい。

2.3 医療機器センターとの共同調査研究による情報発信

(1) 背景

2015年度に医療機器センターと産業戦略室が共同で実施した「ヘルスソフトウェア産業に関するビジネスモデル調査－既存ビジネスモデルの類型整理と将来展望－」の2ndステップとして、当初はビジネスモデルの検討を行うワーキンググループを設けることを検討した。しかしながらJIRA会員企業から参加者を集めることが非常に難しかったため、改めて会員企業に対してヒアリング調査を実施し会員企業のニーズを調べた。

その結果、遠隔画像診断に対するニーズが高いことが分かったため、共同調査のテーマに遠隔画像診断を取り上げることとした。

(2) 目的

遠隔画像診断を普及させる上で何が課題となっているのかを明らかにし、その課題を解決するための施策を提案することにより、JIRA会員企業のビジネスを後押しすることを目的とした。

(3) 実施結果

遠隔画像診断の品質管理にフォーカスし、品質の在り方について論点を洗い出した上で、遠隔画像診断を普及させるために必要な課題と施策について、医療機器センターと議論しながら検討を進めた。その結果、具体的な課題としてモニタ品質管理に着目し、モニタ品

質管理を普及させる施策を中心に報告書案にまとめた。

2.4 行政等への提言活動

2016年度にJIRAから行政等へ説明・提言した内容を以下に示す。

- (1) 第9回IMDRFに関する連絡会（2016年4月）
IMDRFのMC会議の状況、各作業項目の進捗と今後の対応、及び医療機器規制関連の国際会議・講習会の状況について意見交換。
- (2) 各省大臣「第5回革新的医薬品・医療機器創出のための官民対話」（2016年4月）
産業界の関心が高い事項について意見交換。
- (3) 医療機器産業ビジョン2017（仮称）の検討（2016年7月）
厚労省医政局経済課と医療機器産業ビジョン2017（仮称）の検討方法などについて意見交換。
- (4) 第14回医療機器・体外診断薬の承認審査や安全対策等に関する定期意見交換会（2016年7月）
厚労省から最近の行政動向について説明があり、その後産業界側からそれぞれ意見・要望を述べた。
- (5) 官民対話 医療機器WG（2016年9月）
JIRAは医療ICTについて意見を述べた。
- (6) 医療機器の審査料の見直し（2016年10月）
JIRAとしての意見書を、医機連経由で厚労省とPMDAに提出した。
- (7) 第10回IMDRFに関する連絡会（2016年11月）
IMDRFのMC会議の状況、各作業項目の進捗と今後の対応、及び医療機器規制関連の国際会議・講習会の状況について意見交換。
- (8) 厚労省、PMDAとのAIに関する勉強会（2016年12月）
厚労省医薬・生活衛生局及びPMDAに対して、JIRAから4名の講師が「AI技術の医療機器応用に関する課題」について解説し、その後ディスカッションを実施。
- (9) 経産省 海外における日本医療拠点の構築に向けた研究会（2016年11月～2017年2月）
日本医療拠点構築の加速化を図るべく、医療拠点構築の事業主体となり得る事業者及び関連団体等からなる研究会に参加。
- (10) 経産省 新興国における医療機器のメンテナンス体制強化に関する研究会（2017年1月～3月）
新興国における医療機器のメンテナンス体制のさらなる充実を図るため、課題の整理と効果的な方策・体制の在り方を議論。
- (11) 外部機関よりの問合せ対応
厚生労働省、経済産業省、PMDA、JEITA、地方自治体等からの画像医療システム産業についての問合せに対応した。

2.5 継続的基幹業務の強化

- (1) 戦略広報活動の推進【広報委員会と連携】
JIRAの様々な提言、事業活動などの社会的認知を目的に政策提言活動の一環として広報委員会と協調し、発表時期、訴求媒体、発表の効果を総合的に検討して広報発表を行った。広報発表の継続的实施により産業界と記者のコンタクトポイント強化が図れた。

2016年度の実施実績は以下の通り。

- ・ ITEM2016記者会見（2016年4月）
記者会見を総括したPRESS INFORMATIONを配布につき、広報委員会と連携。
- ・ JIRA会報発刊（2016年6月、2017年1月）
JIRA会報の企画、発刊につき、広報委員会と連携。
- ・ JIRA概要リニューアル（2016年7月）
2016年度版の編集につき、広報委員会を支援。
- ・ 官庁向けJIRA活動概要紹介冊子作成（2016年7月）
官庁へJIRA活動を紹介するための冊子を作成し利用した。
- ・ 平成26年度「子ども霞が関見学デー」（2016年7月）
展示企画と実施につき、広報委員会と連携。
- ・ JIRA会長年頭所感発表会（2017年1月）
記者会見での報道機関向けPRESS INFORMATION等、全般を支援。
- ・ JIRAホームページのリニューアル推進
JIRA情報を戦略的に発信するために、ホームページのリニューアルWGを立ち上げて活動を推進。
2017年3月に新しいホームページを完成させ、JIRA関係者へリリース、一般公開を6月とした。
- ・ 産業戦略室のホームページコンテンツ充実
会員限定のコンテンツである「産業戦略室から」の発信情報を強化した。
- ・ JIRA創立50周年記念事業
JIRA創立50周年記念冊子「医療機器産業入門 ―画像医療システムを中心として―」、及び記念ビデオの企画と編集を支援し、2017年3月に完成させた。
DataBook、JIRA会報、及びホームページリニューアルの50周年企画について、広報委員会を支援。
祝賀会展示パネルの標準フォーマット（案）とサンプルを作成し、記念事業準備WGへ提出。

(2) 調査活動【広報委員会と連携】

画像医療システム産業関連の基礎データ整備する中で、画像医療システム産業の現状と将来展望をデータ・資料集として集大成した「Data Book 図表で見る画像医療システム産業2017」の編集の方向付けをするとともに、広報委員会と協調し編集を担当した。

(3) 会員企業支援活動【中小企業・IT産業振興委員会と連携】

中小・IT企業への情報提供サービスの一環として、中小企業・IT産業振興委員会メンバーへ「補助金・助成金等 公的支援情報」を提供した。

(4) 2017年度 JIRA 活動基本方針と事業計画

2017年度 JIRA 活動基本方針（素案）と事業計画（案）を取り纏め、政策企画会議へ提案した。

3. 2017年度の活動計画概要

(1) JIRA 産業戦略の企画・立案・発信

- ・ 「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」のデータ更新
- ・ JIRA 全体の活動基本方針の立案、事業計画、事業報告の取りまとめ支援

- (2) 産業戦略に関する内外の情報収集・調査・根拠データ作成および情報発信
- ・画像医療システム産業に関する基本データベースの整備
 - ・情報発信のインフラとしてJIRAホームページのリニューアル推進
 - ・行政政策関連情報の把握、発信
 - ・関係団体（JAHIS、JEITA、医療機器センター）との情報共有、関係維持、強化
 - ・「JIRA創立50周年記念 画像医療システム産業研究会」の企画・立案、運営支援
 - ・図表で見る画像医療システム産業Data Bookの企画、編集、発行支援
 - ・JIRA創立50周年記念冊子「医療機器産業入門 ー画像医療システムを中心としてー」の活用拡大支援
- (3) 産業戦略に関する行政機関、関係機関への提言、交渉・調整等の活動
- ・行政（内閣官房、厚労省、経産省、総務省、AMED）等対応、提言活動
 - ・医機連等外部団体（医療機器センター、JRS、JART、JSRT）対応、提言活動